

十日町地域 稲作生育速報（令和8年7月21日）

十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会

- 出穂期が平年より早まる見込みのため、遅れずに2回目穂肥を施用し、施用後も葉色が淡い場合は3回目穂肥を施用しましょう。
- 稲は出穂・開花期にかけて水を最も必要とするため、飽水管理を継続しましょう。
- 出穂期予想を参考に、斑点米カメムシ類の被害を防ぐために、適期に薬剤防除しましょう。

【コシヒカリの生育状況】

- 草丈「やや長」、茎数「やや多」、葉数「やや早い」、葉色「並」
- 葉数の進みが指標値より早く、出穂期が早まっています。

《生育データ（7月21日現在）※（ ）内は指標値比・差》

調査地点	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)	幼穂形成期	備考
十日町(小黒沢) 標高 150m	5/13 (稚苗)	88 (114%)	399 (100%)	12.2 [㊤] (+0.2)	31.9 (-2.1)	7/6 (平年差-3)	穂肥①：7/11 穂肥②：7/20
川西(上野) 標高 170m	5/17 (稚苗)	81 (105%)	485 (121%)	12.4 (+0.4)	34.0 (±0)	7/10 (平年差-2)	穂肥①：7/15 穂肥②：7/22 頃
松之山(兎口) 標高 430m	5/26 (中苗)	81 (111%)	429 (113%)	12.4 (+0.8)	35.7 (-2.3)	7/13 (平年差-4)	穂肥①：無し 穂肥②：7/24 頃
津南(米原) 標高 450m	5/27 (中苗)	76 (103%)	488 (102%)	12.9 (+0.8)	37.3 (+2.3)	7/14 (平年差-3)	全量基肥体系

※[㊤]は、止葉が完全展開した状態を指す

【気象予報】北陸地方の1か月予報（新潟地方気象台7月16日発表）

気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

【今後の管理】

1 飽水管理

- ・幼穂形成期頃から出穂期後25日間（高温の場合は30日間）は、飽水管理（土壌が湿った状態）を継続し、根の活力を維持しましょう。なお、常時湛水は、根を傷め、倒伏にもつながるため避けましょう。
- ・異常高温やフェーン現象時には速やかにかん水し、乾燥による障害を防ぎましょう。

2 穂肥施用（コシヒカリ）

（1）2回目穂肥（分施体系）

- ・後期栄養確保のため、出穂期10日前をめやすに窒素成分1.0～1.5kg/10aを確実に施用しましょう。出穂期10日前以降の穂肥は節間伸長にほぼ影響しません。
- ・1回目を施用しても葉色が淡い場合は、窒素成分2.0kg/10aまで増肥しましょう。

（2）3回目穂肥（分施体系）

- ・2回目の施用後も葉色が淡い場合は窒素成分1.0kg/10aを上限に追肥しましょう。
- ・施用のめやす：化学肥料体系では、出穂期3日前のSPAD値が31以下
有機質入肥料体系では、出穂期6日前のSPAD値が33以下

(3) 全量基肥肥料の追肥

- ・ 全量基肥肥料でも出穂期 10 日前頃の葉色が淡い場合は、追肥しましょう。
- ・ 特に、有機 50%入り全量基肥肥料は、葉色がさめやすいので注意しましょう。

表 出穂期予想※から見た穂肥施用時期と窒素成分量のめやす（7月21日現在）

移植時期 (標高)	品種	出穂期 予想	平年比	2回目穂肥		
				穂肥時期	出穂前 日数	窒素成分量 (kg/10a)
5月中旬植 (100～200m)	コシヒカリ	7/31	早(-3)	7/21	10 日	1.0～2.0
5月下旬植 (300～500m)	コシヒカリ	8/6		7/27		
	にじのきらめき	8/9	やや早(-1)	7/26	14 日	1.0～2.0
	新之助	8/10		7/29	12～10 日	1.0～1.5

※ 農業普及指導センター生育調査ほのデータを用いて推測。

注) 有機質の割合が 50%以上の肥料は 1～2 日早く施用。

前回(7/8)から変更しました

3 病害虫対策

(1) 斑点米カメムシ類

- ・ 出穂する前に畦畔の草刈りを実施し、斑点米カメムシ類のすみかをなくしましょう。
イネ科雑草（メヒシバ等）を出穂したままにしていると、そこで増殖します。
- ・ ほ場内の除草も徹底しましょう。ほ場内のヒエやホタルイは、斑点米カメムシ類を誘引します。
- ・ 出穂期（ほ場内の 5 割が出穂した日）を基準に、薬剤の登録内容を確認の上、剤型に
応じて散布時期を決定しましょう。

表 出穂期予想から見た薬剤散布時期のめやす（7月21日現在）

移植時期 (標高)	品種	出穂期予想	薬剤散布時期	
			粒剤	粉・液剤
5月中旬植 (100～200m)	五百万石	7月16日	7/16～7/23	7/19～7/23
	こがねもち	7月22日	7/22～7/29	7/25～7/29
	コシヒカリ	7月31日	7/31～8/7	8/3～8/7
5月下旬植 (300～500m)	コシヒカリ	8月6日	8/6～8/13	8/9～8/13
	にじのきらめき	8月9日	8/9～8/16	8/12～8/16
	新之助	8月10日	8/10～8/17	8/13～8/17

※薬剤の散布適期

粒 剤：出穂期～出穂期 7 日後

粉・液剤：出穂期 3 日後（穂揃い期）～出穂期 7 日後

前回(7/8)から変更しました

(2) いもち病

- ・ 葉いもちの発生が複数地点で確認されています。
- ・ いもち病に弱い品種や例年葉いもちが発生するほ場は、小まめに確認し、早期発見、早期防除に努めましょう。

十日町農業普及指導センター（作物担当）

TEL 025-757-5516・6061

HP http://www.pref.niigata.lg.jp/tokamachi_nogyo/suito.html



←LINE 水稻情報は
こちらから

こまめな休憩と水分補給で
熱中症を予防しましょう！